

グリーンカレッジ 僕の冒険の記録



キャンプの日程を振り返る

6:00 羽田空港 到着	とうとう待ちに待ったこの日が来た 前日の夜は緊張して寝付けないって言ったけど、すぐ寝ていた。
6:30 この旅の案内人の方々に会う	同じTシャツの子供や大人を確認。早く来すぎて緊張していたけど、優しそうな人ばかりでちょっと安心。
6:50 搭乗手続き	飛行機だ！僕はTV番組のメーデー航空機事故の真実と真相の大ファンである。色々な飛行機事故から学んだことは、飛行機で事故に遭うより、空港に移動する車で交通事故に遭う確率が高いだ。
8:05 羽田空港出発	飛行機が離陸、緊張と喜び、ワクワクドキドキ、色々な気持ちで胸がいっぱいだ。
11:00 鹿児島空港から種子島へ	飛行機の窓からあの桜島が見えた。火口から煙がみえ。これが活火山か。火山のすぐそばに街があるのは世界でも珍しいそうだ。
11:50 種子島上陸	ついに上陸！ここがあの種子島だ！今まさに歴史の勉強を始めた僕には、遣唐使、鉄はうの種子島。そしてJAXAの打ち上げ基地！ワクワクが止まらない。
キャンプ場到着	人生初めてのキャンプ。僕だけじゃないみんなも緊張してる。
テント設営	本当にここで寝れるのか？ テントを張ることに苦戦。でもなぜかワクワクが止まらない。テグの打ち方が下手すぎてこの後何度も直す羽目に。

カヤック	カヤック体験は、心に残った。操縦は難しいし、ちょっぴり怖いけど船長の気分。マングローブ、干潟！ 冒険をしていると実感。運動神経ゼロの僕でもできた！
夕食	中種子町の町長さんにいただいた鹿児島牛でBBQ。 町長さん、本当に美味しいお肉をありがとうございます。いっぱい食べました。東京に住む前は名古屋に住んでいて松坂牛が一番美味しいお肉と思っていたけど、鹿児島牛最高です！ 牛さんにも感謝。
キャンプファイヤー	僕の人生で、一番大きな炎を見ました。燃えている炎がとても綺麗で、じんわりと温かい。そして自己紹介の時間、優しい炎のおかげでうまく言えた気がした。
就寝	色々なことがあって、興奮して眠れないかもって考えてたら、すぐ寝てた。



	2日目
起床	周りが明るくて目が覚めた。テントの外に出てみるとなんて綺麗な景色。一生忘れたくないの心で一番大切な物入れにこの景色を入れておく。
朝食	ホットドック 野外で食べる初めての朝食。本当に野外で食べるとなんでも美味しい。美味しい空気も一緒に食べる。
再生可能レクチャー	虫眼鏡で火を起こそうとしたけど、雲が邪魔をしてなかなか着火できない。太古の昔ご先祖さまもさぞ苦労したのだろうと考えた。僕の日常生活では火を使ったり、見たりする機会はほとんどない。でも、キャンプでは必需品だ。料理、暖を取る。安全に火を使えるようになりたい。
昼食	中華麺。僕は母にラーメンは月1回までと怒られるほど好きだ。野外の麺も最高だ。
洞窟	僕は、Bチーム。漁船の船長さんがゾウに見える岩があると言っていたけど、本当にゾウだったよ。船は結構揺れたし、早かった。これぞ冒険って思う。そして、洞窟は本当に綺麗な青だった。光の屈折で見えるらしい。巖窟王の洞窟のお宝の話思い出したけど、ここは人が多くくからお宝は隠せそうにない。
JAXA	宇宙好きの僕には、一度は来てみたいと持っていた場所だ。小さい頃からディスカバリーチャンネルで宇宙の話をみていたし、宇宙飛行士は憧れの職業だ。ここには宇宙から戻ってきた破片などが展示されていた。宇宙のことを考えると小さな悩みなんか吹っ飛びそうな気持ちになる。
夕食	僕は毎週火曜の晩御飯はカレーと決めているほどカレー好きだ。親が驚くほど辛い大人用のカレーも食べる。人生初の男チームカレーの出来は最高だ！サラダの盛り付けも頑張った。料理って結構楽しい。
キャンプファイヤー	温かい炎。キャンプファイヤーは本当に素晴らしい。炎の匂い、優しい光、自然と仲間との話も弾むね。そして焼きマシュマロ。焼くの失敗したけど、美味しかった。みんなの声とマシュマロ。忘れたくない。
就寝	相対性理論のわかりやすい解釈で楽しい時間はあっという間と読んだけど、本当だった。終わってしまうのが勿体無い。終わらないで、って考えてたらいつの間に寝てた。

	3日目
起床	昨日と違って、今日は起こされて起きた。ぐっすり眠れたってことは、寝袋で寝ることにもなれたことか？
朝食	みんなで食べるご飯も最後だ。雨が降らなくてよかったと振り返る。僕が、晴れ男なのかも。
グットキャンパーの心得	ゴミは半分、思い出は2倍。心に残ったフレーズ。土とか、泥とか汚れるのが苦手だったけど、克服した気がする。自然にいと汚れるんじゃないくて、自然に馴染むって事なんだって気がついた。
テントレッスン撤収	散らかした荷物の整理も大変だけどテントの撤収も大変。こんな時に仲間のありがたさを感じられる。
閉会式	とうとう帰るのか。本当に楽しかった。この旅の間、本もパソコンもなかったけど、退屈な時間はなかった。仲間がいて、信頼できる大人の人がいてくれて、新しい世界を知ることができてとても満たされた気持ちになった。
空港 お土産購入	空港でお土産を買った。もちろん僕の大好きラーメン。鹿児島限定のお菓子も買った。
さよなら種子島	福井グリープとお別れだ。仲良くなった子の事を心に刻む。さよならは苦手だ。
羽田空港	空港で両親が見えて安心した。不思議と種子島にいる間は寂しさとかは感じなかったけど、きっと両親は僕がいなくて寂しかっただろうと思う。羽田チームとのお別れだ。飛行機で飲んだコンソメ美味しかった。ランタンの光って綺麗だった。波の音ってやかましいけど、落ち着く。なんかいろんなこと思い出した。みんなの事忘れない。この旅を忘れない。大切な思い出。
自宅に到着	コンクリートに囲まれた生活に戻る そしてまあ 大冒険の終わり。

東京の自宅と種子島キャンプ 僕の体験比較

	種子島のキャンプ	東京の自宅
寝床	寝袋 芋虫型 キャンプの前日に練習で寝てみたが、寝相が悪くて朝には、チャックが開き飛び出て寝ていた。本番が心配だったが当日は飛び出る事なく芋虫で起床。	ベッド 寝相が悪く、祖母にも寝ながら時計のように回っているといわれる。最高に落ち着く場所で、まさに『春暁』
住居	テント 薄い布一枚でほぼ野外。冷暖房はなく、心もとないが、一人部屋で一国一城の主の気分。母がみたらきつと激怒されるほど気ままに散らかし放題。	タワーマンションで免震、頑丈な作りで、野外の音もほぼ聴こえず、普通の雨なら気がつかないほど静か。片付けないと母の厳しい叱責をうける。
トイレ	公衆トイレ テントから離れているので、もよおしてから早めに移動。冷たい便座、かたいペーパー。虫たちの存在を間近に自然の厳しさを感じた。	ウォシュレット 温かい便座、やわらかいペーパー。よくドアを開けたままにしているで叱られる。落ち着く場所。
食事	野外のご飯は本当においしい。自分で作ったカレーは最高の出来だった。夜はヘッドライトで照ながら食べる。仲間と食べる喜びは何を食べてもおいくさせる。	嫌いなものはほぼ出てこない、わがままレストラン。家族で食べるご飯はやっぱり美味しい。
夜の過ごし方	キャンプファイヤー 初めて大きな火をみて感動。火の暖かさに心が解れ、仲間と弾むおしゃべり。最高の時間だった。	音楽を聞いたりネットサーフィン。まったりのんびり一人の時間を過ごす。
空	澄んだ空、夜空はまるでドーム、地球は丸いと感じられた。星たちはまるで掴めそう。北斗七星の美しさを心に刻んでまるでケンシロウの気分。	自宅の窓からは飛行機がよく見える。夜は、星より地上の電気のほうが輝いている。月以外はあまりみられない。

マングローブ

こんな不思議な木初めて見た！

まるで足が生えた様だ。

この不思議な木について僕なりに調べた事をまとめて見る。

あの足の様に見える部分は根っ子らしい。

調べてみるとあの根っこはすごい。

マングローブは干潟に生きているので、僕の周りに生えている植物とは大きな違いがあるようだ。干潟の地中には酸素がないので、あの足のような根を大きく変形させて呼吸しているそうだ。

しかも、あの足の部分は干満で海水から出たり浸かったりするらしい。僕が見た時は、干潮だったので足は出ていた。出ていた足の下には苔類や地衣類が繁殖しているそうで、それを食べにさまざまな生物が集まってくそうだ。カニやシオマネキ、虫などが集まるとそれらを捕食する魚や鳥まで集まるそうだ。まるで食物連鎖のレストラン。



あの奇妙な足は人間まで救っているらし。

2004年スマトラ沖地震で人命や農地が津波の被害を受けたそう。その時流されそうになった人がマングローブにつかまり助ったという記録があるそう。

2009年サモア沖地震では、津波の高さを10%減少させ、水圧を30%減衰させたそう。

マングローブのあの不思議な足には、温暖化の影響で海面上昇による海岸の侵食、高波などの侵食を防ぐ効果もあるそう。

干潟の生物や人間に大きな恵を与えているマングローブに 危機が迫ってる！

マングローブ林の干潟は、干拓しやすく農地や工業地、住宅地、水産養殖地へと伐採され減少しているそう。

その多くは、日本に養殖エビ、パームオイルとして輸入されているそう。

僕は、あの不思議な足の植物を守りたい。僕に何ができるか、どうしたら守れるか、今は答えられないけど、しっかり考えたい。

お礼

僕は、2年前コロナが大騒ぎな頃このグリーンカレッジで石垣島に行く予定でした。当時はまだ4年生、ネットで石垣島の事を沢山調べワクワクした毎日を送っていましたが、残念なことに中止になってしまいました。でも、チャンスがまた来るなんて思ってもみませんでした。種子島キャンプに選ばれたんです。また、中止にならないか、前日までハラハラしていたけど、空港のロビーで同じ Tシャツの方を見つけて本当に行けると確信しました。

最高のキャンプ、最高の旅に連れて行ってくださった全ての方に本当に感謝しています。僕は、このキャンプで知った事、見た事、肌で感じた事、キャンプファイヤーの匂い、ふわふわのマシュマロ、満点の星、僕たちをサポートしてくださった方を忘れません。本当にありがとうございました。

保護者から

息子は、一人っ子でマイペース、靴紐も結べないような子で本当に大丈夫か不安でいっぱいでした。ですが、無事に帰ってきてからは、まるで別人ようになったんです。なんでも自分でやってみようと進んで家のこと、自分の事をやるようになったです。学校も以前は、下校にバスを利用していたのですが、自分から徒歩で帰宅したいと歩いて帰るようになりました。見違える様に逞しくなったのはキャンプで色々な体験をさせていただいたからだと感じております。以前は、虫が苦手な父親のキャンプに同行したくないと言っておりましたが、今では行く気満々で息子の世界が大きく広がったことを感じております。素晴らしい体験で、大きく成長させていただいた事を家族一同心より感謝申し上げます。